

fx-9860GII SD

fx-9860GII

fx-9860G AU PLUS

fx-9750GII

fx-7400GII

ハードウェア

取扱説明書

<http://edu.casio.jp>

本機をご使用になる前に、必ず、本書の「安全上のご注意」をお読みください

CASIO®

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

絵表示の意味



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電池について



電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
そのままにしておくと失明の原因となります。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま本機を使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

電池の液もれについて



本機内で電池が液もれしたまま使用すると、火災・感電の原因となりますので、ただちに本機の使用をやめてお買い上げの販売店、または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡してください。

電池について

電池は使いかたを誤ると、液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。



- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池を充電しない
- 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる



USBケーブルについて

USBケーブルは使いかたを誤ると、傷つきや、破損による火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。



- 濡れた手でUSBケーブルやプラグに触れない



- 指定品以外の物を使用しない
- 加熱したり、加工したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ケーブルやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する
- プラグを抜くときは、ケーブルのプラグを持って抜く(ケーブルを引っ張らない)
- ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは、USBケーブルのプラグをコネクタから抜く



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示画面について



- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。



- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



- 本機で指定されている電池以外は使用しない



- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
- 1年に1度は電池を交換する

USBケーブル接続コネクタへの接続



コネクタ部には、指定品以外のものを接続しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

メモリー保護



- 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして、本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。
- 電池交換を行う際は、取扱説明書をよくお読みになり、正しく行ってください。電池交換のしかたを誤ると、データが消えたり、変化したりすることがあります。

その他の使用上のご注意

- 極端な温度条件下での使用や保管は避けてください。
低温では表示の応答速度が遅くなったり、点灯しなくなったり、電池寿命が短くなったりします。また、直射日光の当たる場所や窓際または暖房器具の近くなど、極端に温度が高くなる場所には置かないでください。
ケースの変色や変形、または電子回路の故障の原因になります。
- 湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
水が直接かかるような使用は避けるとともに、湿気やほこりにも十分ご注意ください。電子回路の故障の原因になります。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。
- 分解しないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。特に表示部は傷がつきやすいので軽くふいてください。
特に汚れがひどい場合は、中性洗剤液に浸した布を固くしぼっておふきください。なお、シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。キーの上の文字が消えたり、ケースにシミをつけてしまう恐れがあります。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書中の表示例は、実物と異なることがあります。
- 本書および本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、電池交換等に起因するデータの消去による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

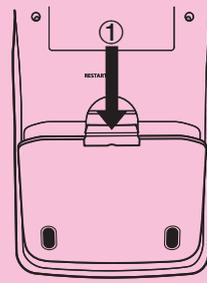
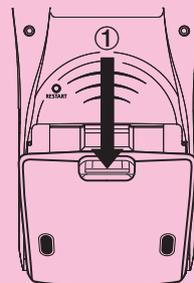
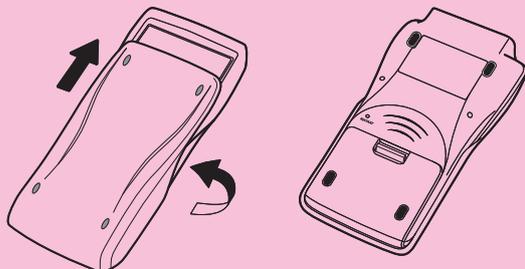
- 何らかの要因により本機が正常に動作しなくなった場合は、RESTART ボタンを先の細い棒などで軽く押して本体をイニシャライズしてみてください。ただし、本体のデータがすべて消えてしまう恐れがあります。

ご購入後、初めてご使用になるときは

工場出荷時、本機には電池がセットされていません。

ご購入後、本機を初めてご使用になる前に、次の手順に従って電池のセットとコントラスト調整を行ってください。

1. 誤って **AC/ON** を押さないように本機にスライドケースを取り付け、裏返す。図の①の部分に指をかけて裏ブタを引き起こし、取り外す。



fx-9860GII SD

fx-9750GII

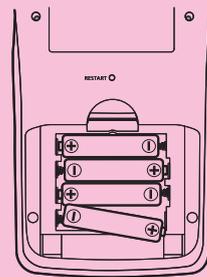
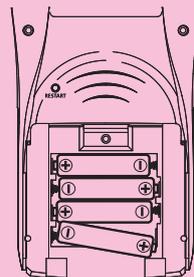
fx-9860GII

fx-7400GII

fx-9860G AU PLUS

2. 同梱されている4本の電池をセットする。

- 電池の極性(プラスとマイナス)に注意して、正しくセットしてください。

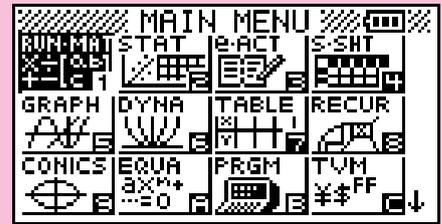
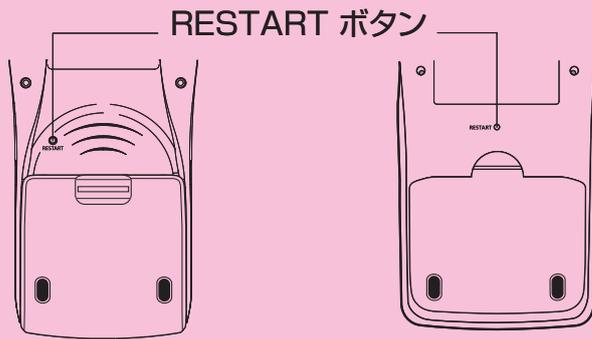


3. 裏ブタ下部の突起を本体側②の位置の窪みに挿し、裏ブタを閉じてから、本機を表に向けてスライドケースを取り外す。

- 自動的に電源がオンになり、メインメニュー画面が表示されます。



- 右のようなメインメニュー画面が表示されなかった場合は、本機の裏面にあるRESTARTボタンを押してください。



上の画面はfx-9860GII SDのもので、実際に表示される画面は、機種によって若干異なります。

4. カーソルキー(▼/▲/◀/▶)を使って**SYSTEM**アイコンを反転させ、**[EXE]**を押した後、**[F1]**(◀▶)を押す。



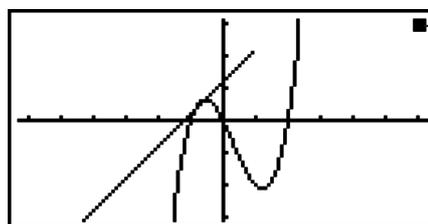
5. コントラストを調整する。
 - 右カーソルキー▶を一回押すと、表示は一段濃くなります。
 - 左カーソルキー◀を一回押すと、表示は一段薄くなります。
 - **[F1]**(INIT)を押すと、初期設定に戻ります。
6. コントラスト調整が終わったら **[MENU]** を押す。

使用上のご注意

計算処理中やメモリーへの書き込み中、メモリーからの読み込み中は、プログレスバーまたは演算実行中シンボルが表示されます。



プログレスバー



演算実行中シンボル

プログレスバーまたは演算実行中シンボルが表示されているときは、RESTART ボタンを押したり、電池を抜いたりしないでください。メモリー内容の消去や誤動作の原因となります。

fx-7400GII、fx-9750GIIをお使いの方へ

プログラムリンクソフトウェア(FA-124)を使うと、パソコンにデータを転送することができます。パソコンにデータをバックアップすることも可能です。

fx-9860GII SD、fx-9860GII、fx-9860G AU PLUSをお使いの方へ

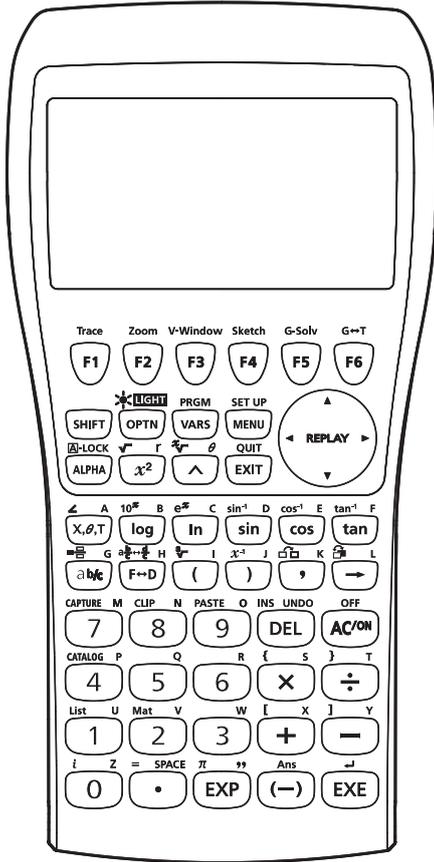
これらの機種は、保存メモリー用としてフラッシュメモリーを搭載しています。データは常にフラッシュメモリーへバックアップすることをおすすめします。バックアップについては、「ソフトウェア取扱説明書」の「第11章 メモリーマネージャー」をご覧ください。

またプログラムリンクソフトウェア(FA-124)を使うと、パソコンにデータを転送することができます。パソコンにデータをバックアップすることも可能です。

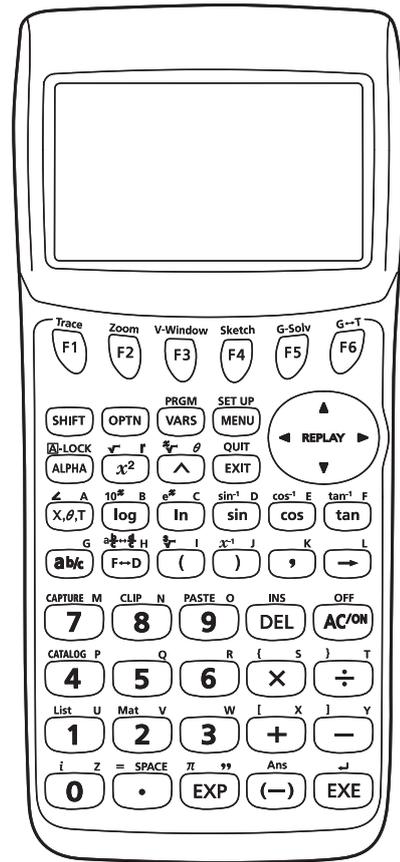
目次

1. キーレイアウト
2. バックライトを使う (fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUSのみ)
3. 仕様
4. リスタートとリセット
5. 電源

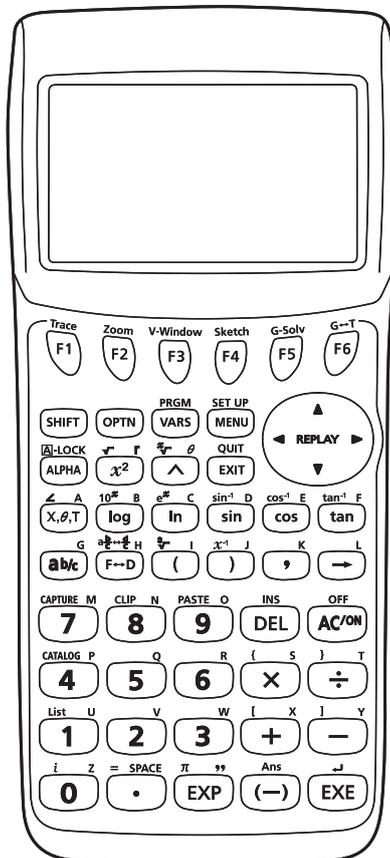
1. キーレイアウト



fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS



fx-9750GII



fx-7400GII

2. バックライトを使う

(fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUSのみ)

本機は暗所でも表示を見やすくするためのバックライトが搭載されています。必要なときだけバックライトを点灯するようにすれば、電池の消耗を抑えることができます。

• バックライトを点灯/消灯するには

[SHIFT] **[OPTN]** (LIGHT)を押すたびに、バックライトは点灯/消灯の間で切り替わります。

• バックライトの点灯操作について

[SHIFT] **[OPTN]** (LIGHT)というキー操作の代わりに、どのキーを押してもバックライトが点灯するように設定することができます。設定について詳しくは、「ソフトウェア取扱説明書」の「バックライト点灯キーを設定するには」(12-2ページ)をご覧ください。

• バックライトの点灯時間について

点灯後何も操作しなければ、バックライトは30秒または10秒後に消灯します。

- キー操作を行うと、その時点から30秒または10秒だけ、点灯時間が延長されます。
- 点灯時間を30秒または10秒に設定する操作については、「ソフトウェア取扱説明書」の「バックライト点灯時間を設定するには」(12-2ページ)をご覧ください。

• バックライトと電池寿命について

- バックライトを頻繁に使うと、電池寿命は短くなります。
- 下表は、バックライトの使用状況に応じた電池寿命の目安です(気温25℃の環境下で、新品のアルカリ電池で本機の使用を開始した場合)。

バックライトの使用	おおよその電池寿命
1時間あたり演算5分* ¹ 、表示55分、バックライト消灯	200時間(80時間* ²)
1時間あたり演算5分* ¹ 、表示55分、バックライト3分点灯	190時間(75時間* ²)
1時間あたり演算5分* ¹ 、表示55分、バックライト15分点灯	150時間(70時間* ²)
1時間あたり演算5分* ¹ 、表示55分、バックライト継続点灯	80時間(50時間* ²)

*¹ fx-9860GII SD : 5分間のSDカードへのアクセス

*² fx-9860GII SDの場合

3. 仕様

変数メモリー：28

計算範囲：

$\pm 1 \times 10^{-99} \sim \pm 9.999999999 \times 10^{99}$ および 0。内部演算は仮数部 15 桁を使用。

指数表示範囲：Norm 1 モード： $10^{-2} > |x|, |x| \geq 10^{10}$

Norm 2 モード： $10^{-9} > |x|, |x| \geq 10^{10}$

プログラム容量：fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS/fx-9750GII
最大62,000バイト

fx-7400GII
最大20,000バイト

保存メモリー容量：fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS：
最大1.5メガバイト

fx-9750GII/fx-7400GII：なし

電源：単4形アルカリ乾電池(LR03(AM4))4本

消費電力：fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS：0.7W

fx-9750GII/fx-7400GII：0.35W

電池寿命：

fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS：

約280時間(メインメニューを連続表示した場合)

約200時間*(演算5分、表示55分で連続使用した場合)

* fx-9860GII SDでSDカードを使用した場合は約80時間

約190時間*(演算5分、表示55分、バックライト1時間あたり3分点灯で連続使用した場合)

* fx-9860GII SDでSDカードを使用した場合は約75時間

約1年(電源オフのまま使用しなかった場合)

fx-9750GII/fx-7400GII：

約300時間(メインメニューを連続表示した場合)

約230時間(演算5分、表示55分で連続使用した場合)

約1年(電源オフのまま使用しなかった場合)

• 次のいずれかに該当する場合は、電池寿命が短くなります。

- 一部タイプのSDカード使用、またはSDカードへの頻繁なアクセス
- バックライトの頻繁な使用
- プログラム計算の連続実行
- 一部タイプの電池使用

オートパワーオフ機能：操作完了後約10分または約60分で自動的に電源が切れます。

使用温度：0°C～40°C

大きさ：fx-9860GII SD/fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS：

厚さ21.2×幅91.5×奥行184.0mm

fx-9750GII/fx-7400GII：

厚さ21.3×幅87.5×奥行180.5mm

質量：fx-9860GII SD：約225g(電池含む)

fx-9860GII/fx-9860G AU PLUS：約220g(電池含む)

fx-9750GII/fx-7400GII：約205g(電池含む)

データ転送

3ピン・シリアルポート

転送方法：非同期方式、半2重通信方式

転送速度(BPS)：

115.2 Kビット/秒(通常通信時)

9600ビット/秒(CFX-9850G/fx-7400Gシリーズに接続し Send/Receive コマンドを使用した場合)

38400ビット/秒(Send38k/Receive38k コマンドを使用した場合)

<115.2 Kビット/秒> 通信時の通信設定

パリティ：偶数パリティ

データビット長：8ビット

ストップビット：

転送時：1ビット

受信時：1ビット

パリティ (NONE) 1ビットを含む

X ON/X OFF 制御：なし

<9600、38400ビット/秒> 通信時の通信設定

パリティ：なし

データビット長：8ビット

ストップビット：

転送時：3ビット

受信時：2ビット

パリティ (NONE) 1ビットを含む

X ON/X OFF 制御：なし

USBポート(fx-7400GIIを除く)

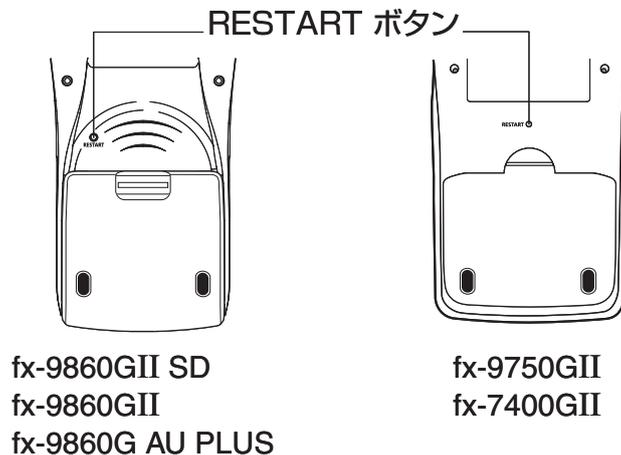
USB 1.1 標準に準拠

4. リスタートとリセット

● リスタート

本機の動作が異常になった場合は、RESTART ボタンを押して本機を再起動することができます。ただし、緊急時以外はRESTART ボタンを使用しないでください。

通常、RESTART ボタンを押すと本機のOSが再起動し、プログラムやグラフ関数式、その他本機のメモリーに保存されているデータは保護されます。



重要

本機は電源オフ時にユーザーデータ(メインメモリー)のバックアップを行い、次回の電源オン時には、このバックアップデータをロードします。

RESTART ボタンを押すとOSが再起動し、その時点でバックアップされているデータがロードされます。このため、プログラム編集やグラフ式などの入力後にRESTART ボタンを押すと、バックアップされていないデータは消えてしまいます。

● リセット

リセットは、本機のメモリーに記憶されているすべてのデータを消去したり、各種のモード設定を購入時の状態に戻したりする場合に実行します。

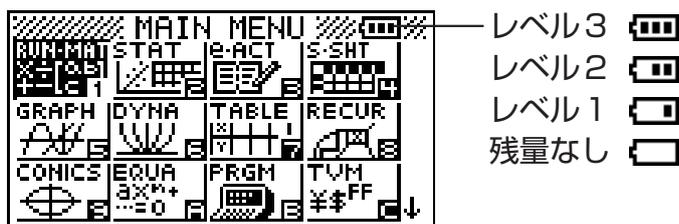
リセットを実行する前に、重要なデータはノートに書くなどして、控えを残してください。

詳しくは、「ソフトウェア取扱説明書」の「各種のリセットを実行する」(12-3ページ)をご覧ください。

5. 電源

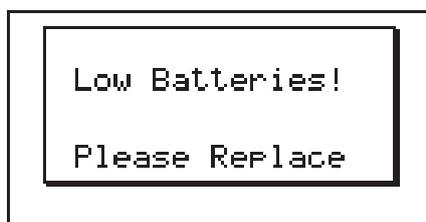
本機は、単4形アルカリ乾電池(LR03(AM4))4本で動作します。

メインメニューの右上に表示される電池アイコンで、現在の電池残量が確認できます。



レベル1アイコン()が表示されたら、すみやかに電池を交換してください。

次のようなメッセージが表示された場合は、本機の使用を一時中断して、ただちに電池を交換してください。



電池を交換しないでそのまま使用を続けると、メモリーを保護するために自動的に電源がオフになります。電池を交換すると、通常の状態に戻ります。

本機の使用頻度にかかわらず、1年に1度は必ず電池を交換してください。

付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。

オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池を本機に使用しないでください。電池の特性と本機仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさないことや、誤動作の原因となることがあります。

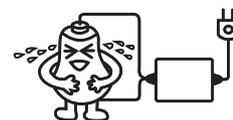
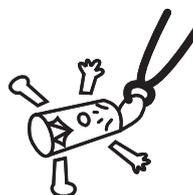
「オキシライド乾電池」は、パナソニック株式会社の商標、または登録商標です。

■ 電池の交換

ご注意

電池は使い方を誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れてください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池格納部には消耗した電池を放置したままにしないでください。
- 本機を長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 本機付属の電池を充電しないでください。



- 電池をショートさせたり、火の中へ投入したり、分解や充電しないでください。
(電池が液もれした場合は、電池液が肌に直接つかないように、すぐに本機の電池格納部をきれいにしてください。)

電池はお子様の手が届くところに置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

● 電池を交換するには

- 電池を取り外した状態や正しく入っていない状態で、**[AC/ON]** キーを押さないでください。記憶されていたデータが消えたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。万一このような状態になった場合は、電池を正しくセットした後、リスタート操作を行ってください。
- 電池は4本とも新しい電池と交換してください。

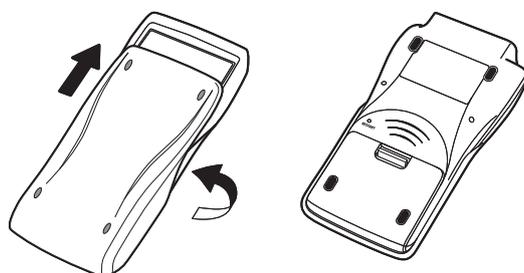
eActivity での編集中に電源をオフにし、電池交換をすると、編集していたデータは削除されます。本機の電源をオフにして電池交換をする前に、eActivity のデータを保存してください。

1. **[SHIFT]** **[AC/ON]** (OFF) を押して電源をオフにする。

警告！

- 電池交換の前に必ず本機の電源をオフにしてください。電源をオンにしたまま電池を交換すると、メモリーにあるデータは削除されます。

2. 誤って **[AC/ON]** を押さないように本機にスライドケースを取り付け、裏返す。

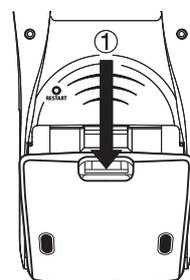


3. 図の①の部分に指をかけて裏ボタンを引き起こし、取り外す。

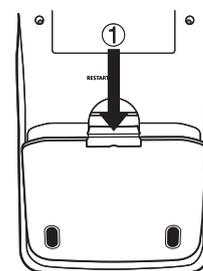
4. 古い電池4本を取り出す。

5. 新しい電池を、電池の極性(プラスとマイナス)に注意して正しくセットする。

6. 裏ボタンを元通りに閉じる。

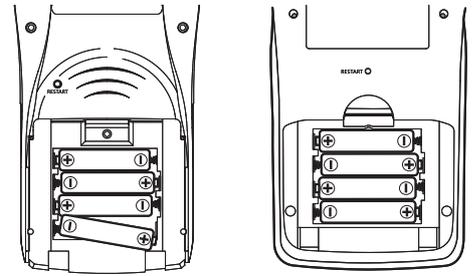


fx-9860GII SD
fx-9860GII
fx-9860G AU PLUS



fx-9750GII
fx-7400GII

7. 本機を表に向けてスライドケースを取り外し、
[AC/ON] を押して電源をオンにする。



- 電源をオンにしたとき、表示が濃すぎたり薄すぎたりして見にくい場合は、コントラストを調整してください。

■ オートパワーオフ機能について

何のキー操作も行わずに本機を放置すると、オートパワーオフ機能に設定されている時間に自動的に電源がオフになります。約10分か約60分のどちらかに設定できます。詳しくは、「ソフトウェア取扱説明書」の「オートパワーオフ時間を設定するには」(12-1 ページ)をご覧ください。

再び電源をオンにするには、[AC/ON] を押します。

アフターサービス窓口について

製品の機能・操作・購入先に関するお問い合わせ

お客様相談窓口



0570-088906

全国一律料金でご利用いただけます。

<http://casio.jp/support/contact/before/>

PHS・IP電話・公衆電話からは03-5334-4907

受付時間 月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30

(日・祝日・弊社指定休業日は除く)

修理サービス窓口

修理に関するお問い合わせ窓口



0570-004161

全国一律料金でご利用いただけます。

<http://casio.jp/support/contact/before/>

PHS・IP電話・公衆電話からは042-560-4161

受付時間 月曜日～土曜日 AM9:00～PM6:30

(日・祝日・弊社指定休業日は除く)

送付修理サービス受付窓口

最新のご送付先につきましては下記アドレスよりご参照ください。

<http://casio.jp/support/repair/soufu/>

なお、「修理に関するお問い合わせ窓口」でもご案内しております。

持込修理サービス受付窓口

最新のお持込先につきましては下記アドレスよりご参照ください。

<http://casio.jp/support/repair/mochikomi/>

なお、「修理に関するお問い合わせ窓口」でもご案内しております。

ホームページによる情報の提供について

製品のQ&A、製品・修理のお役立ち情報、各種サポート情報、機能・操作や修理のお問い合わせに関する情報をホームページで提供しております。

カシオホームページ <http://casio.jp/> から「お客様サポート」のページをご参照ください。

カシオ製品の修理サービスに関する業務はカシオテクノ株式会社が担当いたします。

・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

保証・アフターサービスについて

●保証書はよくお読みください

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間は保証書に記載されています

●修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。

- ・保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- ・保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●あらかじめご了承ください

- ・故障の内容によりまして、弊社の都合により「一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理にかえ同一製品あるいは同等製品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された商品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- ・循環型社会形成促進の取組みの一環として、再生した部品や製品を、修理や製品交換の際に使用させていただく場合があります。修理の際に交換した部品や製品は、修理受付時に特段のお申し出がない限り弊社にて引き取らせていただきます。
- ・日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理サービス窓口」にご依頼ください。

●アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2